



バックアップ/セキュリティサービス
(Acronis Cyber Protect Cloud)

ハンドブック

(導入編)

1.2 版

2023 年 9 月 22 日

富士通クラウドテクノロジーズ株式会社

※本仕様は 2023 年 9 月時点のものであり、予告なしに変更される場合があります。

内容

1. 本ハンドブックについて.....	2
2. インストール前確認事項.....	3
2-1. 全エージェント共通確認事項.....	3
2-2. Linux ご利用時の確認事項	3
2-3. グローバル IP を所持していない VM をご利用時の確認事項.....	4
3. エージェントインストール方法	6
3-1. 利用可能エージェントの種類.....	6
3-2. 全エージェント共通操作.....	6
3-3. Linux ご利用時の操作	7
3-4. Windows ご利用時の操作.....	12
3-5. SQL データベースご利用時の操作	14
4. 接続確認ツール(疎通確認ツール)で通信確認.....	16
5. よくあるお問い合わせ	17
5-1. エージェントの更新.....	17
5-2. システムレポート(システム情報)の取得方法	22

1. 本ハンドブックについて

本ハンドブックでは、Acronis Cyber Protect Cloud（以降は Acronis と表記します）をお申し込みいただいたお客様へ、サービス利用開始までをスムーズに行っていただけるように説明しております。

※FJcloud-V/ニフクラ環境での利用を前提としています。

※本ハンドブックは 2023 年 9 月時点の仕様をもとに作成しております。

- ・ UI 等の変更される場合がございます。

- ・ サービスについては以下の URL をご参照ください。

- ▼バックアップ セキュリティサービス（Acronis Cyber Protect Cloud）

- <https://pfs.nifcloud.com/service/acronis.htm>

- ・ サービスを利用される際の注意事項は、上述の URL ならびに以下の FAQ をご参照ください。

- ▼FAQ（よくあるご質問）

- <https://faq.support.nifcloud.com/category/show/67>

2. インストール前確認事項

本項目では Acronis エージェントをインストールするための、前準備/要件を記載しております。
OS ごとに要件を満たしているかを確認し、次項へお進みください。

2-1. 全エージェント共通確認事項

- ① インストールに十分な空き容量があるか確認

エージェント	必要なディスク領域
エージェント for Windows	1.2GB
エージェント for Linux	2GB
SQL エージェントと Windows エージェント	1.2GB

- ② DNS 設定ができているか確認

名前解決ができることをご確認ください。

- ③ 適切なファイアウォール設定ができているか確認

以下の URL をご参照の上、ファイアウォールの設定をご確認ください。

▼ニフクラ FAQ

<https://faq.support.nifcloud.com/faq/show/749>

▼Acronis IP アドレス表

<https://kb.acronis.com/content/47189>

2-2. Linux ご利用時の確認事項

Acronis ユーザーズガイドの Linux 版パッケージ一覧より、利用するディストリビューションに必要なパッケージのインストールをしてください。

※インストールするパッケージはカーネルのバージョンに適合している必要があります。

※Acronis エージェントのインストーラーが原則自動でインストールします。

※必要なパッケージは以下の URL をご参照ください。

▼Linux 版パッケージ一覧確認 URL

<https://www.acronis.com/ja-jp/support/documentation/CyberProtectionService/#linux-packages.html>

2-3. グローバル IP を所持していない VM をご利用時の確認事項

① プロキシサーバー経由でのインターネット接続(squid)

プロキシサーバー(squid)経由でのエージェントインストールを行う際は以下のルールを適用してください。

※ニフクラルーターの web プロキシ機能はご利用いただけませんのでご注意ください。

▼/opt/acronis/etc/aakore.yaml ファイルの修正

env セクションを探し（または作成し）、以下の行を追加します。

```
env:  
  http-proxy: proxy_login:proxy_password@proxy_address:port  
  https-proxy: proxy_login:proxy_password@proxy_address:port
```

▼インストールファイルの実行コマンド①

```
./<インストールファイル名> --http-proxy-host=<ADDRESS> --http-proxy-port=<PORT>
```

▼インストールファイルの実行コマンド②

```
./<インストールファイル名> --https-proxy-host=<ADDRESS> --https-proxy-port=<PORT>
```

※インストールファイルの実行コマンド①、②のどちらかを実行してください。

※<ADDRESS>はプロキシサーバーの IP アドレスへ書き換えてください。

※<PORT>は squid で設定している port へ書き換えてください。

▼プロキシサーバーへログインの設定をしている場合は以下オプションを追記して実行してください。

```
--http-proxy-login=<LOGIN>--http-proxy-password=<PASSWORD>
```

※<LOGIN>はプロキシサーバーへのログイン ID へ書き換えてください。

※<PASSWORD>はプロキシサーバーへのログイン PW へ書き換えてください。

詳細設定は以下の URL をご参照ください。

▼プロキシサーバーの設定

<https://www.acronis.com/ja->

[jp/support/documentation/CyberProtectionService/#proxy-server-settings.html](https://www.acronis.com/ja-jp/support/documentation/CyberProtectionService/#proxy-server-settings.html)

② ニフクラルーター(NAT)経由でのインターネット接続

ニフクラのルーター経由でのエージェントインストールを行う際は以下のルールをルーターに適用してください。

ルーター設定

設定項目	設定内容
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none">・ 共通グローバルに接続してください・ 対象 VM が存在するプライベートネットワークに接続してください
ルートテーブル	設定不要 ※ただしルーターのルートテーブルにデフォルトゲートウェイを変更するようなルールが存在している場合に、Acronis サーバー宛ての通信を特定のゲートウェイから送信するようなルートテーブルを追加する必要があります。
SNAT	優先度：任意の数値 プロトコル：ALL 送信元：対象 VM の IP アドレス アウトバウンド：共通グローバル
DNAT	特に設定不要
Web プロキシ	特に設定不要
DHCP コンフィグ	特に設定不要

3. エージェントインストール方法

本項目では各 OS でのエージェントの説明とインストール方法について解説します。

3-1. 利用可能エージェントの種類

▼それぞれの OS で利用するエージェント

バックアップ対象	エージェント
Linux OS	エージェント for Linux
Windows OS	エージェント for Windows
SQL データベース	エージェント for SQL, エージェント for Windows

※エージェント for SQL をインストールすると「エージェント for Windows」も同時にインストールされます。

3-2. 全エージェント共通操作

ご登録いただいた Acronis アカウントで管理画面へログインし、画面左メニュー【デバイス】>画面上部【追加】と進み、対象のエージェントインストーラーをダウンロードしてください。

▼バックアップ/セキュリティサービス（Acronis Cyber Protect Cloud）管理画面

<https://cloud.acronis.com/services>





※表示された画面を下までスクロールすると Microsoft SQL Server が確認できます。

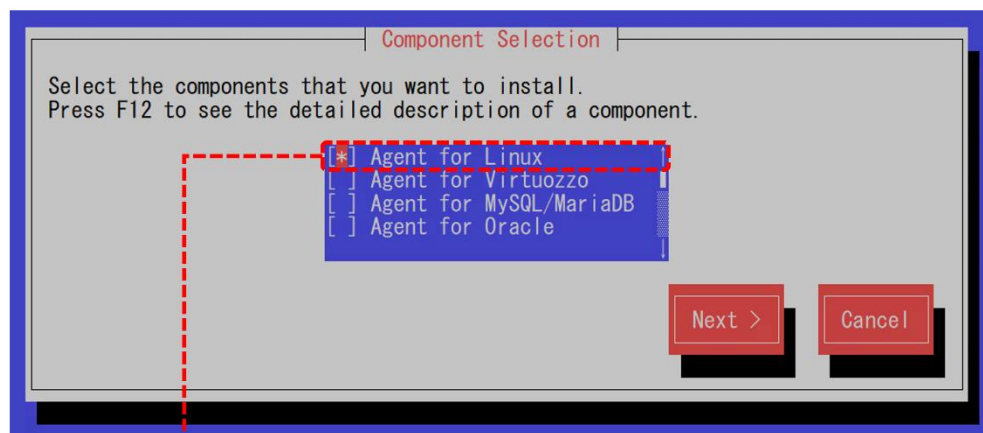
※ダウンロード時に使用していた Acronis アカウントがインストーラーに組み込まれますので、複数アカウントをお持ちのお客様はご注意ください。

▼ダウンロードができましたら、利用する OS の項目にお進みください。

[3-3.Linux ご利用の操作](#) / [3-4.Windows ご利用の操作](#) / [3-5.SQL データベースご利用の操作](#)

3-3. Linux ご利用時の操作

- ① 3-2 全エージェント共通操作でダウンロードしたエージェントインストーラーをバックアップ対象サーバーに転送してください。
- ② 対象サーバーでエージェントインストーラーの実行
利用する OS を選択してください。



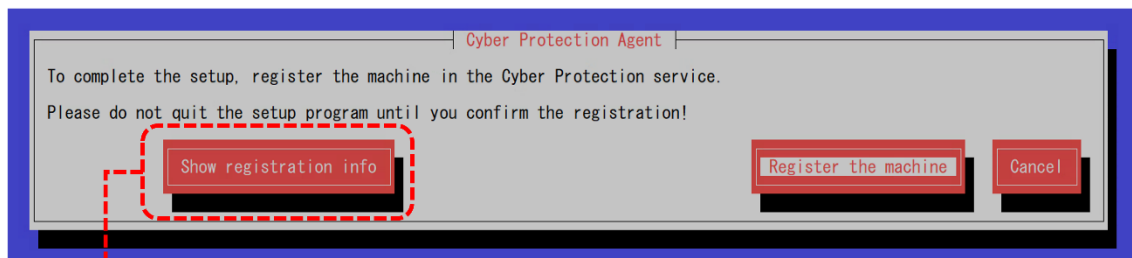
Agent for Linuxを選択

※インストーラーの実行時、Cyber Protection サービスにマシンを登録する方法として、デフォルト以外の登録方法で実行した場合に、Cyber Protection サービスのユーザー名とパスワードを要求されます。

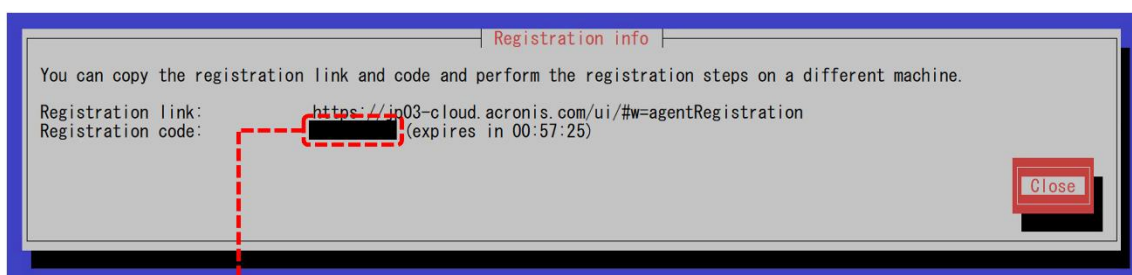
▼Linux でプロテクションエージェントをインストールする

<https://www.acronis.com/ja-jp/support/documentation/CyberProtectionService/index.html#installing-agents-linux.html>

▼成功例

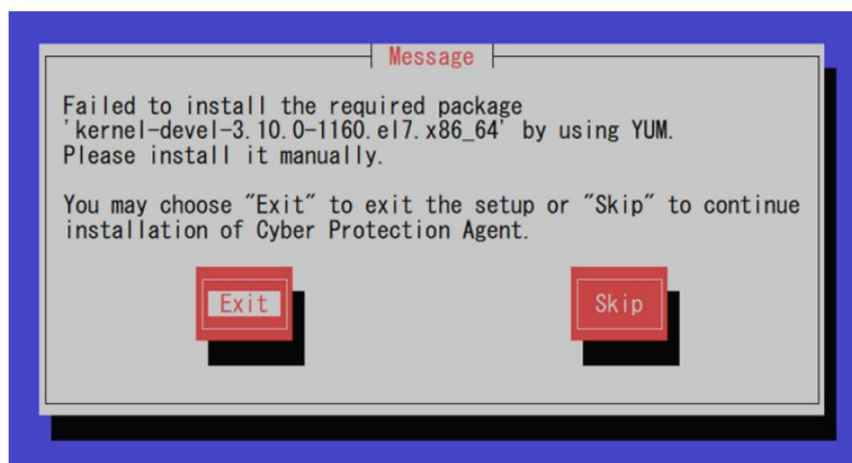


こちらから
登録情報の確認



登録コードのコピー

▼失敗例



上記エラーの対応方法

/etc/yum.conf を以下のように修正してください。

▼修正前

```
exclude=kernel* centos-release* kmod-kvdo*
```

▼修正後

```
# exclude=kernel* centos-release* kmod-kvdo*
```

※ここからは管理画面の操作となります。



※表示された画面を下までスクロールすると登録ボタンが確認できます。



ワークロードの登録

ワークロードの登録を確認してください

登録コード
[REDACTED]

アカウントの登録: [REDACTED]

コードを確認

コピーした
コードを入力

ワークロードの登録

ワークロードの登録を確認してください

登録コード
[REDACTED]

アカウントの登録: [REDACTED]
ワークロードの名前: fjctlin

登録を確認

登録を確認を
クリック

fjctlin

VM

ステータス
保護されていません

前回のバックアップ
—

次回のバックアップ
—

保護を有効にする 復元

管理画面より確認可能

※デバイスの一覧を簡易表示設定で表示しています。

3-4. Windows ご利用時の操作

- ① 対象サーバーにて、3-2 全エージェント共通操作を行う
- ② ダウンロードした Acronis エージェントのインストーラーを実行



ワークロードの登録

ワークロードの登録を確認してください

登録コード
[REDACTED]

アカウントの登録: [REDACTED]
ワークロードの名前: fjctwin

登録を確認

登録を確認を
クリック

fjctwin

VM

ステータス
保護されていません

前回のバックアップ
—

次回のバックアップ
—

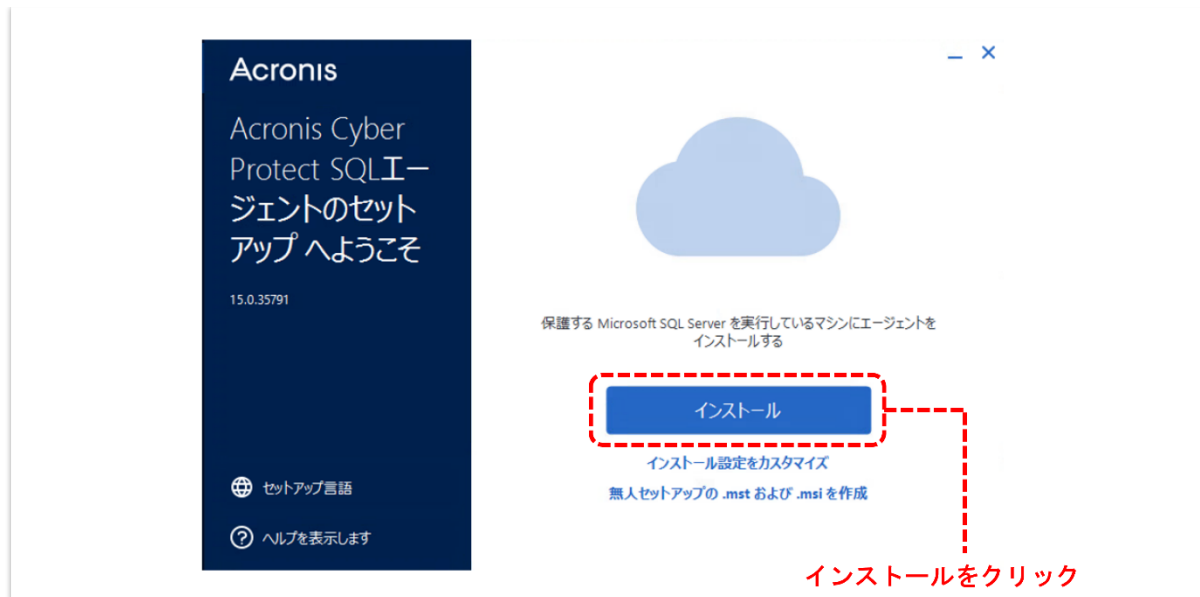
保護を有効にする 復元

管理画面より確認可能

※デバイスの一覧を簡易表示設定で表示しています。

3-5. SQL データベースご利用時の操作

- ① 対象サーバーにて、3-2 全エージェント共通操作を行う
- ② ダウンロードした Acronis エージェントのインストーラーを実行





※デバイスの一覧を簡易表示設定で表示しています。

4. 接続確認ツール(疎通確認ツール)で通信確認

本ツールを事前に実行し、ネットワーク構成のチェックを行うことを推奨いたします。

■以下の URL をご参照の上、接続確認ツールを対象サーバーにダウンロードし、実行してください。

▼疎通確認ツール

69441: Acronis Cyber Protect Cloud、Acronis Cyber Protect 15 および Acronis Cyber Backup 12.5: Connection Verification Tool

<https://kb.acronis.com/ja/content/69441>

※実行時の<login>はご利用いただいている Acronis アカウントに置き換えて実行してください。

※-p=<password>オプションは利用できません。実行時にパスワードが要求されますので入力してください。

※二要素認証をお申し込みのお客様は疎通確認ツール実行時に 6 桁のワンタイムパスワードを要求されますので入力してください。

▼実行結果例(成功例)

```
[xxx@xxxx]# ./linux_port_checker_en-US_x86_64 -u=xxx
Check for jp-cloud.acronis.com 443 Ok
Check for ams7799-jp-cloud.acronis.com 443 Ok
Check for baas-fes-jp2.acronis.com 44445 Ok
Check for rs-jp-cloud.acronis.com 443 Ok
```

▼実行結果例(失敗例)

```
[xxx@xxxx]# ./linux_port_checker_en-US_x86_64 -u=xxx -p=xxx
Error 0x2470001: HTTP transfer error
| line info: 0xcbd08862963188ae
| $module: msp_port_checker_lxa64_215
|
| error 0x2260006: Couldn't resolve host 'baas.acronis.com'
| line info: 0xcbd08862963188af
| $module: msp_port_checker_lxa64_215
```

■NG が出た場合は以下の URL をご参照の上、ファイアウォール設定を再度ご確認ください。

▼ニフクラ FAQ

<https://faq.support.nifcloud.com/faq/show/749>

▼IP アドレス表

<https://kb.acronis.com/content/47189>

5. よくあるお問い合わせ

本項目では、頻繁にお問い合わせを頂く事象について補足をしております。

5-1. エージェントの更新

原則エージェントは自動的にアップデートされます。

※デフォルトでエージェントは自動的にアップデートされる設定になっております。

自動更新を行いたくない場合は、画面左メニュー【設定】>【エージェント】と進み以下の方法で設定可能です。

※各デバイスに適應する設定と、全デバイスに適應する設定があります。

▼オレンジの注意マークが出ている場合は最新バージョンへアップデートが可能です。

検索	種類	名前 ↑	アカウント	インストール済みコンポーネント	エージェントのバージョン	自動ア
<input type="checkbox"/>	デスクトップ	fjctlin	[Redacted]	△ 旗	15.0 35791	オン
<input type="checkbox"/>	デスクトップ	fjctsql		☰ 旗	15.0 35791	オン
<input checked="" type="checkbox"/>	デスクトップ	fjctwin		☰ 旗	15.0 32035 ⚠	オフ
<input type="checkbox"/>	デスクトップ	handbook		☰ 旗	15.0 35791	オン

オレンジの注意マークが表示されているデバイスは最新のバージョンではないことが確認できます

アクションメニュー:

- すべての古いエージェントをアップデート
- デフォルトのエージェントアップデート設定を編集する
- エージェントのアップデート
- 定義をアップデート
- キャッシュを消去
- 詳細
- アクティビティ
- エージェントアップデート設定
- 削除

▼自動アップデート停止方法（各デバイス設定）

エージェント

検索

選択済み: 1 / ロード済み: 4 / 合計: 4

種類	名前 ↑	アカウント	インストール済みコンポーネント	エージェントのバージョン	自動アップデート
<input type="checkbox"/>	fjctlin			15.0 35791	オン
<input type="checkbox"/>	fjctsql			15.0 35791	オン
<input checked="" type="checkbox"/>	fjctwin			15.0 32035	オン
<input type="checkbox"/>	handbook			15.0 35791	オン

アクション...

- すべての古いエージェントをアップデート
- デフォルトのエージェントアップデート設定を編集する
- エージェントのアップデート
- 定義をアップデート
- キャッシュを消去
- 詳細
- アクティビティ
- エージェントアップデート設定
- 削除

1. 個別に設定にしたい対象デバイスを選択

2. こちらを選択

fjctwin

チャンネルをアップデート

現在

最新バージョンのエージェント。

前回のリリース

前回のリリースから最も新しいバージョンのエージェント。

エージェントの自動アップデート

指定のメンテナンス期間の間にエージェントが自動アップデートされます。

メンテナンス期間

新しいバージョンは設定された時間帯でのみインストールされます。

開始

23:00

終了

08:00

日

月

火

水

木

金

土

デフォルト設定

適用

こちらを選択

fjctwin

チャンネルをアップデート

現在

最新バージョンのエージェント。

前回のリリース

前回のリリースから最も新しいバージョンのエージェント。

エージェントの自動アップデート

指定のメンテナンス期間の間にエージェントが自動アップデートされます。

デフォルトの設定にリセット

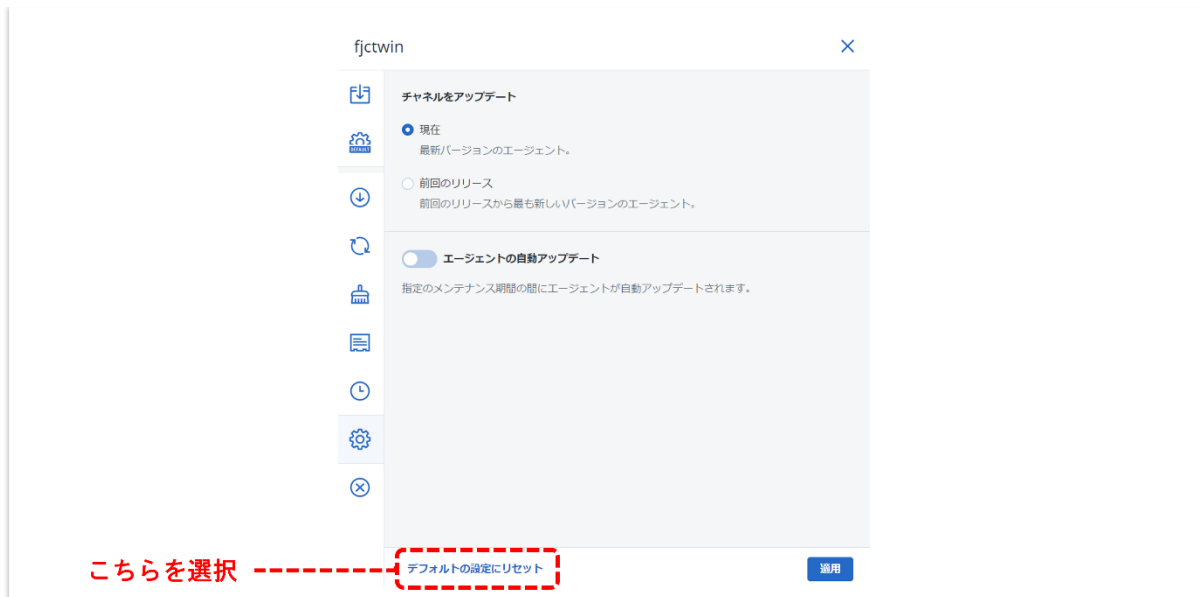
適用

こちらを選択



※複数エージェントを選択した状態でも設定可能ですが、最新情報に上書きされますのでご注意ください。

※個別に設定したエージェントをデフォルト設定にリセットする場合



▼自動アップデート停止方法（全デバイス設定）



エージェント

検索

ロード済み: 4 / 合計: 4

種類	名前 ↑	アカウント	インストール済みコンポーネント	エージェントのバージョン	自動アップデート
	fjctlin			15.0 35791	オン
	fjctsql			15.0 35791	オン
	fjctwin			15.0 32035	オフ
	handbook			15.0 35791	オン

デフォルトのエージェントアップデート設定を編集する

こちらを選択



デフォルトのエージェントアップデート設定

チャンネルをアップデート

☒ 現在
最新バージョンのエージェント。

☐ 前回のリリース
前回のリリースから最も新しいバージョンのエージェント。

☒ エージェントの自動アップデート
指定のメンテナンス期間の間にエージェントが自動アップデートされます。

☒ メンテナンス期間
新しいバージョンは設定された時間帯でのみインストールされます。

開始: 23:00 終了: 08:00

日 月 火 水 木 金 土

デフォルトの設定にリセット

適用

こちらを選択

※デフォルトではエージェントの自動アップデートは ON になっていますので、OFF の設定に変更してください。

※個別に設定したエージェントには反映されません

※個別に設定したエージェントをデフォルト設定にリセットした場合は反映されます

エージェントの更新方法詳細については以下の URL も合わせてご参照ください。

▼エージェントのアップデート

<https://www.acronis.com/ja->

[jp/support/documentation/CyberProtectionService/#updating-agents.html](https://www.acronis.com/ja-jp/support/documentation/CyberProtectionService/#updating-agents.html)

5-2. システムレポート(システム情報)の取得方法

システムレポートの取得方法は以下の URL をご参照ください。

▼システムレポート取得方法

54608: Acronis Cyber Protect Cloud: Collecting system report

<https://kb.acronis.com/content/54608>

※システムレポートは発生した不具合の原因究明に利用いたします。**不具合が発生した際はシステムレポートを取得の上、お問い合わせください。**

お問い合わせ先：[ベーシックサポート（トラブル窓口）](#)

▼システムレポート取得方法(エージェントインストール済みのデバイス)

The screenshot displays the Acronis Cyber Protect Cloud dashboard. On the left, the 'デバイス' (Devices) menu is highlighted, and 'すべてのデバイス' (All Devices) is selected. The main table lists devices: 'fjctlin', 'fjctsql', 'fjctwin', and 'handbook'. The 'handbook' device is selected. On the right, the 'アクティビティ' (Activity) menu is selected. Below, the 'handbook' activity log shows a list of activities. The 'システム情報の収集' (Collect system information) activity is selected.

1. 対象デバイスを選択

2. アクティビティを選択

システム情報の収集

※システム情報の収集を選択すると、zip ファイルとしてデータが保存されます。

Acronis エージェントがインストールされていないか、コンピュータがオフラインの場合は以下の URL をご参照の上、対象サーバーで収集を行ってください。

▼手動での取得方法

Acronis Agent is not installed or machine is offline

<https://kb.acronis.com/content/54608#offline>